
68話 フラクタル

吉川明人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

68話 フラクタル

【Nコード】

N5576K

【作者名】

吉川明人

【あらすじ】

ショートショートです。

最小のものを追い求める生涯。

物質を構成する最小単位のことを発見するのが、私の生涯を賭けた研究テーマだった。

そのために、これまで莫大な予算と時間と人を使ってきた。

過去に何度も「これこそ最小の物質である！」と確信したものもあったが、それが見つかるたびに「ではこの物質を形づくっているものは何だ？」との疑問にぶつかり、さらに小さなものを求める研究を始めるといふ、イタチごっこのくり返しを重ねてきた。

私が追い求め、最後にたどり着いた最小のものについてまとめた論文を見ながらも、心は空虚をさまよっている。

そうなのだ。

どれほど最小のものであっても、それが存在する以上、それは最小ではない。

認めたくない。

……それを認めてしまつては、私の生涯とはいったい何だったのか分からなくなってしまう。

何より私には時間が残されていない。

明日定年を迎えてしまえば、個人で続けられるほど、この研究は設備も費用もハンパではないのだから。

今後はせめて後進のアドバイザーとして、時々ここに訪れて研究の成果を見守るしかないのだろう。

……これがムダな研究であることは、決して明かさないまま……。

いつそんな最新の設備や技術などなかった、原子と電子からなる「元素」こそ最小のものであるとされた十八世紀後半がうらやましく思える。

遠い未来には本当に最小のものが見つかったりいるかも知れないし、あるいは私と同じように、今この時代こそうらやましいと考える者がいるのかも知れない。

どちらにせよ、私がそれを知ることはないということだけはハッキリしている。

落胆しながら研究室の灯りを消して、人物が出て行ったあとには、机の上に論文が無造作に置かれていた。

その中の最小のものの構造について説明に使用されている記号『j』の頭『・』を拡大していくと、元素を形作る素粒子が表われ、それを形づくる小さなものがあり、さらにそれをつくるものがあった。

そこには原子を中心として電子が存在するように、太陽を中心として惑星が存在するように、核を中心とした外郭に暮らす存在があった。

「ああ、いったい我々を形づくっている最小のものとは何なのだろうか……」

ひと息つくために、手を伸ばした飲み物のそばには、書きかけの論文が無造作に束ねてあった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5576k/>

68話 フラクタル

2010年12月30日20時10分発行